

# 議会だより

## 第1回議会定例会開かれる

- 3名の議員から5項目の一般質問
- 平成25年度予算が成立する
- 町政執行方針・教育行政執行方針に8名が質問
- 「議会だより」に関する町民アンケート集計結果



乳児健診でブックスタート

NO.

69

平成25年5月

発行：比布町議会

編集：議会広報特別委員会

# 第1回議会定例会

平成25年第1回議会定例会は3月7日から13日まで開催され、平成25年度町政及び教育行政の執行方針説明（広報びっぴ4月号掲載）のほか、条例改正、補正予算などが審議されました。一般質問では、3名の議員から5項目の質問がありました。その内容の要旨は次のとおりです。



第1回議会定例会の様子

地元医療機関 比布町立  
診療所びっぴクリニック  
クについて



佐藤康則 議員

## 質問

町立びっぴクリニックは開業以来、多彩な診療科目と民間医療機関では極めて難しいとされる有床診療も備え、地域に密着した医療の拠点を目指し、果たすべき役割は大きく、今後さらに町民や患者のニーズに対応していく事が求められます。

また、勤務医や看護職員不足により有床診療の困難・手術担当看護師不在の状況に追い込まれているのも事実です。医療機関の運営はもちろん、医師や病院スタッフの努力に委ねるしかありません。

地方公立病院として採算性の困難な医療提供も目的とされ、民間のさらなる企業努力と適切な行政支援で地域により信頼され、安心して受診できる医療機関の継続を目指すべきだと思います。また、町長の考えを伺います。

また、地元医療機関として必要とする医療設備、機器の購入・更新について執行側と計画的協議を十分行っているか伺います。

## 町長答弁

存在は町における唯一の診療所として欠くことのできない施設と強く認識し、特に入院環境を継続する為、看護職員の確保が最重要課題と位置づけ平成25年度予算に一定の支援を計上します。

基本的には、委託契約時の確約書により更新し、高額な機器の購入については協議の上、必要と認められたものは持分を決めて購入します。

ただし、精密機械は計画年数にとらわれずに、更新が必要となる場合もあることも念頭に置き基本的事項については、協議をしております。

## 再質問

設備する機材の維持管理費が経営を圧迫しているのではないかと懸念します。

医療施設・機器の需要、その機器を生かした医療展開、経営をどの様に構築していくか、協議をされているか伺います。

また、今後さらに良質な医療の提供と院長の理念でもある、優しく思いやりのある医療機関

を目指していただくこと、まちづくりにも大いに参加をいただき、院長を先頭に病院スタッフも地域に一層親しまれる医療機関であるよう指導していただきたい。

**町長再答弁** 設備に関し、町の医療機関として身の丈にあった診療をする事、必要とされる機器の限度は、しっかりと伝えてあります。

また、まちづくりへの参加については、今まで以上積極的に協力いただけるようお願いしてまいります。



年金400万円以下でも確定申告をする必要があるのでは

**質問** 2011年分の申告から年金が400万円以下で、かつ給与など年金以外の所得が20万円以下の場合には所得税の確定申告が不要となりました。

しかし、住民税は対象になっていません。自主申告は国民の権利ですから、申告は必要です。

医療費・生命保険料・扶養控除などの控除がされていないとそのままでは税金が高いままで、暮らしに役立つ制度から外されてしまいます。

申告をしないと①医療費や扶養などの控除つけ忘れ②住民税の申告をしないと暮らしに役立つ制度を活用するための非課税証明がとれない③昨年11月に年金事務所から扶養親族等申告書が送られてきていますが、提出していない場合、確定申告をしないと税金が確定・還付されません。

町民へ十分理解できるように周知をしたのか町長に伺います。

**町長答弁** 適正な税務事務をするために町として3点については1月号の広報びつぷ(6〜8



遠藤ハル子議員

ページ)でお知らせしています。確定申告については町民の皆さんは十分に理解していると思

## 緊急通報システムの日常化を

遠藤ハル子議員

**質問** 高齢世帯では、定期的に消防支署から電話を掛けてつながることで、万が一の時に緊急通報システムを使うことができるようになると思います。

また、見守りシステムがある新型システムも利用されています。湯沸かしポットが使われると無線でセンサーに送られ、電子メールで見守る側に送信されます。

また、居間、トイレ等に取り付けたマットを踏む、ドアを開け閉めするなどでセンサーが人の動きを感じし、その在室状況を送受信機に送られるなどの見守りもされています。機器更新をする時には、他のシステムも考えてはどうかと考えます。

いますが、質問にありましたとおり、混乱している部分があると思うことでしたら、内部で協議をして分かりやすいようにお知らせの仕方を考えていきたいと思えます。

**町長答弁** 緊急通報システム設置の高齢者宅に消防職員が年1回訪問して非常時の通報の仕方などを説明していますが、独居老人宅にはより丁寧に説明していきま

行政ですべてをカバーするには限界がありますので、家族の絆や地域のつながりが重要です。センサーの導入を検討する前に家族や地域のボランティアの皆さんなどと協力し見守り体制の充実について検討することも大切だと思っております。

## 役場庁舎建設計画を願って



山内一彦議員

**質問** 現在の役場庁舎は、昭和34年、村の大変厳しい財政状況の中、近代的な鉄筋コンクリート2階建てで、村民はもとより村外からも素晴らしい庁舎と言われたそうです。

それから早や54年の歳月が経過し、現在では管内中央部8町の中でも一番古く、現況では、非常に狭く、また寒くて暗く感じます。



今年度は、町制50周年の記念すべき年であり、庁舎の建設計画を立てていただきたく、町長の考え方を伺います。

**町長答弁** この庁舎については、古く危険なものであるということ

## 職員の職務規程について



山内一彦議員

**質問** 本町の職員にも職務・罰則規程を定めてありますか。過去に実例はありましたか。

今回の国保の前期高齢者交付金過大算定は、職務規程にあたらないのか伺います。

**町長答弁** 町職員は地方公務員法により、義務と責任が明確にされており、その規定に基づき、懲戒に関する条例、規程等を制定しています。

また、公務員倫理の確立に關し、必要な事項を定める「比布町職員倫理規程」を制定し、職員の遵守すべき事項や禁止行為を定めています。過去には、監督責任

とから、近い時期に改築しなければならぬと思っております。しかし、中学校の改築を検討しなければならぬ状況にありますので、耐力度調査の結果を受けて改築または改修を優先させたいと思います。

庁舎の改築については、次期のまちづくり計画の中で議論していきたいと考えています。

による減給処分や交通事故による戒告処分を受けた職員がいま

す。 今回の件では、事務処理者1名、管理監督者4名、関係決裁者3名から願末書の提出があり、その内容と関係職員からの聞き取り、関係規程、過去の事例、北海道の事例等を十分検討し処分を決定し、その具申を受けましたので、先日それぞれの職員の処分を致しました。

## 第2回臨時会

2月22日

◆平成24年度一般会計補正予算(第7号)

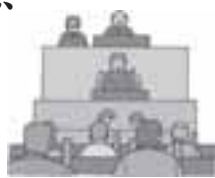
歳入歳出予算にそれぞれ1億651万8千円を追加し、総額34億7474万3千円とするもので、原案のとおり可決されました。

◆平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定・第4号)

歳入歳出予算にそれぞれ7661万9千円を追加し、総額7億6779万9千円とするもので、原案のとおり可決されました。

## 皆さんも傍聴しませんか

次回の定例会は6月に開会の予定です。詳しい日程は、無線放送等でお知らせしていますので、ご留意ください。皆様の傍聴をお待ちしています。



# 第1回定例会

3月 7日  
～ 13日

## 補正予算

### ◆平成24年度一般会計補正予算 (第8号)

歳入歳出予算にそれぞれ90億25万2千円を追加し、総額35億6499万5千円とするもので原案のとおり可決されました。

### ◆平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算からそれぞれ2億52万6千円を減額し、総額5996万円とするもので、原案のとおり可決されました。

### ◆平成24年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算からそれぞれ7億9342万5千円とするもので、原案のとおり可決されました。

### ◆平成24年度観光事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算からそれぞれ550万円を減額し、総額1億656万8千円とするもので、原案のとおり可決されました。

### ◆平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算からそれぞれ4億82万1千円を減額し、総額1億9093万5千円とするもので、原案のとおり可決されました。

### ◆平成24年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算からそれぞれ8億14万8千円を減額し、総額1億2305万7千円とするもので、原案のとおり可決されました。

### ◆平成24年度一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出予算からそれぞれ3億95万8千円を減額し、総額35

億6103万7千円とするもので、原案のとおり可決されました。

### ◆平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定・第5号)

歳入歳出予算にそれぞれ13億09万6千円を追加し、総額7億8089万5千円とするもので、原案のとおり可決されました。

### ◆平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

簡易水道等施設整備事業(愛別ダム堰堤改良に伴う負担金)として翌年度に繰り越して使用することができる繰越明許費を101万7千円とするもので、原案のとおり可決されました。

## 条例

### ◆比布町ゲートボールコート条例を廃止する条例

老人クラブゲートボール連盟が解散し、また連盟加入者以外の利用もないことから本条例を廃止するもので、原案のとおり可決されました。

### ◆比布町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、本条例を制定するもので、原案のとおり可決されました。

### ◆比布町指定地域密着型サービ

ス事業所等の指定に関する基準を定める条例の制定

### ◆比布町指定地域密着型サービ

スの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

### ◆比布町指定地域密着型介護予

防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

### ◆比布町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例の制定

◆比布町道路の構造の技術的基準等を定める条例の制定  
以上の5件は、地域主権改革一括法及び関係法律等の一部改正により新たに本条例を制定するもので、原案のとおり可決されました。

◆比布町議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の改正により、総合的な行政計画の基本構想は議決事項から外れましたが、従来どおり、まちづくり計画の基本構想を議決事件として加えるもので、原案のとおり可決されました。

◆比布町営住宅管理条例の一部を改正する条例

◆比布町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例

◆比布町公共下水道条例の一部を改正する条例

以上の3件は、地域主権改革一括法及び関係法律等の一部改正により本条例を一部改正し、追加するもので、原案のとおり可決されました。

◆特別職等の職員の給与の特例に関する条例の制定

国民健康保健特別会計の前期高齢者数の報告誤りによる管理監督責任として、特別職の職員の平成25年4月分の給料月額から100分の10に相当する額を減じた額にするため、本条例を制定するもので、原案のとおり可決されました。

## 計画変更

◆比布町過疎地域自立促進市町村計画の変更

比布川の河川改修に伴い、蘭留橋架替工事の必要が生じたことと、食材の適正な品質管理のため小・中学校の冷房設備を新設するため、道との事前協議の結果、事業の追加による本町の過疎計画を変更するもので、原案のとおり可決されました。

## 専決処分

◆専決した事件の報告

排雪作業中に発生した除雪車両事故について、その損害賠償額と事故の経過について報告されました。

## 発議

◆議会広報特別委員会の設置

議会広報紙「議会だより」を発行するため、5名の委員で構成する特別委員会を設置するも

ので、議員提案のとおり可決されました。

なお後日、委員会での互選に

## 議会広報特別委員会

信子	明	井	今	長	委員
諭	ハル	藤	遠	副委員長	委員
則		本	中	委員	委員
雄	康	藤	佐	委員	委員
	章	野	浅		

よろしく申し上げます。



より委員長に今井明信氏、副委員長に遠藤ハル子氏が選任されました。

## 意見書を提出

第1回定例会において、次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

- 平成25年度地方財政対策に関する意見書
- TPP交渉参加断固阻止に関する意見書

### 【提出先】

衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、外務大臣、経済産業大臣

# 町政執行方針・教育行政 執行方針に対する質疑

町長及び教育長の執行方針に対する大綱質疑が行われ、  
8名の議員から質疑がありました。  
そのあらまは、次のとおりです。

## 遠藤八儿子議員

### ●町長に対して

びっぷクリニックでは1年以上前から外科手術の看護師がいなくて手術ができない状態が続き、手術の時は看護師の応援を受けています。

地域医療を安心して経営できない状況がこれからも続く恐れがあります。町内に病院がある事で安心して掛かれるなど、診療所を守っていかねければならないと思います。

看護奨学生への補助や看護師資格のある方の再就労支援なども視野に入れることが喫緊の課題ではありませんか。



院長の経営力だけでは解決できませんので、町としての今後の具体的な支援策をお尋ねします。

### ●町長答弁

びっぷクリニックにおける現状はその通りだと思います。院長から極めて困難な運営状況と支援についての要望を聞いていますので、看護師確保を図るために必要な支援を平成25年度の中で措置しています。

### ●町長に対して

高齢者が暮らせる町づくりの観点から、移動手段の不足による、この町で暮らせなくなっている現状があり、高齢者からは「子どもからそろそろこちらへ来ないか」と言われている」と聞きます。

福祉バスや観光バスとして町内を走っていますが、生活のためのバスが不足しています。遊湯びっぷ行きのバスを蘭留経由にするとか、このバスを「生活バス」にも使えるようにする時機ではないかと思えます。

### ●町長答弁

遊湯びっぷ行きのバスは限定的な運行で運輸局の許可を取っている事もあり蘭留経由にする事は、道北バスとの路線が競合するので民業圧迫との課題があ

りできない状況です。

移動手段の確保は重要な課題と認識しています。いずれにしても重要な課題なので議員の皆さんにも相談していきます。

### ●町長に対して再質問

今後、道北バスを利用できる「高齢者バス」や「高齢者回数券」なども考えてはどうか。

### ●町長再答弁

道北バスを利用する方についての支援と言うことも一つの方法であるかと思いますが、以前タクシーチケットを出したこともありますが、総体的に移動手段の解決方を職員も積極的に検討を進めています。

### ●教育長に対して

学校教育の場で、子どもの貧困を拡大する事になるのではと危惧しています。

2005年国庫負担をやめ自治体負担になった就学援助制度ですが認定基準は、比布町は生活保護基準の1・2倍です。1・5倍に近づける事を考えていく事が子育て支援になるのではないかと提案したいと思えます。

また、生活保護基準が1割引き下げになると就学援助児童数は150万人から130万人に20万人減少すると試算されてい

ます。新年度はまだ保護切下げが決まっていますので、先取りする事はないと思いますが、今後の事も含めて、就学援助制度を利用する家庭の子育て支援を貫いていただきたいと思います。

●教育長答弁

平成24年度の認定児童数は、小・中学生合わせて試算は24人です。8月から段階的に生活、教育、住宅扶助費など影響が出てくると考えています。近隣町の動向も見ながら、教育の機会を妨げないよう国の動向を見定め、対応してまいります。

●教育長に対して

安心して通学できる交通環境を確立するためにも「スクールバスの停車場所を知らせるように広報に載せ、子育て中ではない町内の人にも知らせてほしい」との要望が届いています。スクールバスを児童が何人利用していますか。

町民はどこで乗車降車するのかわく分らないと言うのは車を運転して同じく思います。安全対策としてバス停を設置してはどうかと考えます。

●教育長答弁

おおむね1・5キロメートル以上の児童が、夏場35〜40人、冬

場は50〜60人が利用しています。中学校の部活動の安全の為に夕方も増便しています。1年1年乗車降車する人が違うので停留所の設置は難しい事です。事故等が発生していますので安全対策をしっかりとっていきます。



●教育長に対して

今、景気の悪化で鑑賞団体が相次ぎ経営危機に陥っています。開かれた学校教育の実践に、以前には保護者や地域にも開放していたと聞きます。北海道巡回小劇場等を招いて小学校で鑑賞をしていますか、町民にも鑑賞

の機会を増やし文化・芸術に触れる機会を町民にも与えてはどうかと考えます。

●教育長答弁

児童・生徒を対象にやっている芸術鑑賞事業は今まで演劇や人形劇、古典芸能、ミュージカルなど様々な種目について開催してきました。新年度に学校と協議をさせていただき、保護者などにも鑑賞してもらおうよう検討していきます。

澁谷興二議員

●町長に対して

平成21年から平成24年の青果物振興を検証した中で、十分な振興対策が施されていないのではないかと、執行方針での水田農業ビジョンの重点項目の位置付け、課題・問題点を整理し、振興対策等抜本的に取組んでまいりますと記述されていますが、どのような対策かお伺いします。

●町長答弁

本町青果物生産については、近年生産量・生産額ともに減少傾向にあり、厳しい状況が続いています。町として規模拡大等のために個人向け、生産体系構築のため生産部会向けの一定の支援をしましたが、結果と

して青果物の振興に繋がっていないのが現状です。今後、国の農業制度が大きく変化化する可能性もありますが、生産者・農協・行政等が強い連携のもとで、農業ビジョン等方針を定めて、重点項目の位置づけ、ロードマップ、行程表などを作成し、どのような支援が有効か振興策を立て協議し、時期まちづくり計画に反映させてまいります。



●町長に対して

国民健康保険の前期高齢者交付金過大算定により、被保険者に過度な負担にならないようにとは、どのようなことかお伺いします。



●町長答弁

国保運営協議会のご意見や、近郊自治体の状況等を見ながら適正な範囲で国保税を決定していききたいと考えています。

●町長に対して再質問

25年度の国保税は当初予算で6月に概算で決まりますが、十分勘案した中で、基金等から繰り入れた分は、過大交付を受けた被保険者が負担するべきではないですか。

●町長再答弁

十分に受け止めさせていただき、処理させていただきます。

●町長に対して

自立を支える人に優しい福祉のまちづくりを進めるとは、どのような構想かお伺いします。

●町長答弁

私の福祉に対する考え方は、人と人との繋がり心をふれ合わせ、互いに支え合いながら暮らすことのできる地域づくりを進めることと思っています。例えば、ふまねつと運動の普及や小地域ネットワーク活動などを通して、地域で支え合う機運を高め、行動をしていくことが、さらに必要だと思っています。

●町長に対して

町営放牧場の跡地対策について、どのような方向で検討するのか、採草地か、植林して森林に戻すのか。

●町長答弁

跡地対策につきましては、町の貴重な財産でもありますので、畜産振興会とも協議をし、農地として残す方法と、転用して森林化する方法に大別されるかとおもいますが、広く町民の皆様から意見を聴き方向を決めて行きたいと思えます。

浅野章雄 議員

●町長に対して

農業の振興、安心・安全な農産物の産地づくりのために、「農協の強いリーダーシップを欠く事ができない。」とありますが、具体的にどのような形でリーダーシップの発揮を促すのか、さらにどのように連携を強化していくのか伺います。

●町長答弁

具体的な方法として、絶対的なものはありませんが、十分な話し合い、情報交換を行いながら、農協が積極的に取り組もうとしているものについて、支援をし事業等を実施する際は、互

いに協議し意見交換をしながら、リーダーシップの発揮を促し連携を深めてまいりたいと考えています。

●町長に対して再質問

今までも農協との連携はされていますが、今後策定される農協の第10次運営計画と合わせて連携を図ってはどうか伺います。

●町長再答弁

町の第11次まちづくり計画にも反映できるような形で連携を取り進めてまいります。

●町長に対して

「農協が取り組む体質強化基盤整備事業について側面的に協力する。」とありますが、どのような協力かお伺いします。



●町長答弁

体質強化基盤整備事業はあくまでも事業主体が農協であるというところで、適切に事業が執行され、良好なほ場整備がされるように、町としてできる支援はしっかりとしていきたいと思っています。

●町長に対して

近年の高速、大容量の情報通信環境に対応するためにも、本町にも光回線の導入が必要だと考えます。ご検討をお願いいたします。

●町長答弁

本町は平成21年度に無線による通信網の整備を国の地域情報通信基盤整備推進交付金により整備し、町内のほぼ全域でインターネットを利用できる環境になっていきます。

町の事業としての整備は現状として不可能だと思っています。事業者が整備する際には、光回線の加入見込み件数、エリアの検討など、コスト的に採算がとれない場合は難しいと言われています。

今後調査し、可能な限り事業者の事業に取り入れられるよう努力してまいりたいと思っております。

●教育長に対して●

平成22年3月で廃校となった旧蘭留小学校施設の売却・利用希望は、ホームページ等で広く募集していますが、今までにどのような利用問い合わせがあったのか、今後進展しそうな問い合わせがあるのか、お伺いします。

●教育長答弁●

一昨年の10月以降、大学の運動サークルの合宿所、音楽活動の拠点としての利用、子供の自然活動の拠点施設としての利用など10件近くの問い合わせがありました。いずれも残念ながら、具体的に利用するまでには至りませんでした。

今現在、旭川の林産試験場が、国の大型補正に伴い「地域活性化につながる木製品づくりプロジェクト」という事業計画書を国の方に提出しているところで、北海道らしい地域木材製品の製造、廃材を利用したバイオマス燃料に有効活用するための施設としての利用問い合わせがあります。3月下旬に採択される見込みになっていますが、旧蘭留小学校以外にも、当麻町、愛別町の廃校も視察されていることから、まだはつきりしない状況です。採択がされた段階で、事業内容の確認をし進めてまいります。

那須莞爾議員

●町長に対して●

ホームページの更新がまだされていないのか伺います。

●町長答弁●

記述方法に誤解を招き、お詫びします。現在、職員個々のパソコンから閲覧・修正できる設定・準備を進めています。その後、各課において現状の公開ページをチェックし、年度内には切り替えていきます。



町職員ホームページ操作講習会

●町長に対して●

最新の地域防災計画は、安心・安全の裏付けとして、どこ避難所には何と何がある、ここには何人分の非常食や水が常備し

てある、停電時は非常用発電機等に対応するなど、広報びっぷ等で常にお知らせしてはどうか伺います。

●町長答弁●

町民カレンダーの裏にハザードマップでお知らせしています。食料品の備蓄の実施は本年度から開始しています。

●町長答弁●

平成25年度に、「比布町防災会議」を開催し検討します。計画は災害時要援護者に面接し聞き取りを実施し、町内会長等にも説明し情報把握・共有を進めていきます。

現在「上川管内市町村広域防災協定」の策定・締結に向けて作業を進めています。締結後には防災担当者の定例的な情報交換の場の設置、備蓄備品、防災機材等のリストの共有、防災訓練の実施、十勝岳防災訓練の視察、町職員等の「防災士」等の資格取得についての研究など、具体的な内容を盛り込んで実施していきます。防災協定もお知らせする中で、安心・安全を広報紙等でPRしていきます。

佐藤康則議員

●町長に対して●

まちづくり計画は5か年の計

画を策定し、基本構想、基本計画、実施計画の3部門で構成をされ、ローリング方式により見直しをし、計画に基づき推進しますが、新たに作成される第11次まちづくり計画において、予想以上に急変する国の予算に順応できる計画の策定・準備はできないか伺います。

●町長答弁●

現在までの臨時交付金は使途の制約が無く、交付金があった時はまちづくり計画で組んでいるものを充当し新規事業も参入しながら前倒しする状況で、新たに第11次まちづくり計画は、10次計画を踏襲して、5か年の計画期間で策定します。

また、計画自体のローリングはしない方針です。

今回のような突発的な補正に対応する為には、最終実施計画を完了し周到な準備を多数備える事が必要で仮に国の予算が成立しない場合は、実施不可能な状況も数多く想定され、今後議会も含め総合振興審議会等での検討が必要と考えます。

●町長に対して再質問●

5年先のことを見据えて、構想・実施を図る為には、期間中の経済環境や時代背景の変化を察知し、急な補正にも順応できる

よう計画変更・見直しが必要でローリング方式も含め、生きた策定を行う事ができないか伺います。

### ●町長再答弁

11次計画の中で計画自体は、ローリング方式が良いのか、新規事業を取り入れながら進めるのが良いのか、審議会の中でもご意見を拝聴し検討します。

### ●町長に対して

これまで道庁や上川総合振興局に町職員が人事交流も含めた職員研修を実施しておりましたが、職員の経験と人脈の拡大、本町との情報交換・交流を目的とし再度、研修派遣ができないか伺います。

### ●町長答弁

以前は、職員を派遣して研修をしていた実績がありますが、近年行財政改革を進める中で、町職員についても減数しております。

さらに一人ひとりの仕事量が相当増え、パソコンでの事務処理が大半を有し情報の保護、専門的分野の職務が増大し、大変難しい状況にあります。

しかし、高度化する職務内容を含め職員の能力向上は欠くこととはできないと考え、実情も考慮しながら、今後この派遣につ

いても視野に入れ、考えて行く必要はあると思います。

### ●教育長に対して

中央小での英語教科の授業状況、指導助手の配置も含めどのように進められているか、教育現場での混乱はないか教育長に伺います。

### ●教育長答弁

英語指導助手のパイエット先生と児童との関わりは非常に大きく、併せて担任の教諭にも大変頼りにされ負担軽減にもなっており、教育現場での混乱は特にありません。



## 今井明信議員

### ●町長に対して

国民皆保険制度ができて50年以上が経過しています。そ

の間、日本の医療は世界一であり健康、長寿、平均寿命共に世界のトップですが、反面、医療需要の増加に伴う医療費の高昇を招いています。

厚労省は、医療費抑制に価格の安い後発薬の利用促進等に取り組んでいますが膨張に歯止めが掛からない状況です。後期高齢者医療費は5割を税金、4割を現役世代が賄っており、医療費負担が現役世代を圧迫することが年々強まっています。

医療費増加の原因はいくつかありますが、一番は個々の健康意識や予防に対する考えが低い事です。

本町は医療費の抑制に各種ワケチンの公費助成や特定健診の積極的な受診に努めるために健康マイレージ事業等を行っており、一定の成果が伺えますが、本町も高齢化傾向にあり現役世代の減少等を考えると早急な取り組みが必要です。医療費抑制の策を各世代、町を挙げて取り組む事が大事です。町長の考えを伺います。

### ●町長答弁

医療費を劇的に抑制できる方法は現状では考えがありませんが健康意識を持ってもらうためのマイレージ事業や運動機能の維持の為に「ふまねっと運動」な

ど今でき得る対策を地道に進めてまいります。さらに保健師による健康相談、健診指導を強めてまいりますと考えています。



### ●町長に対して再質問

現状では抜本的な策は無いようですが、保険者である町として、なぜワケチンの公費助成等を進めるのか、本来の意義の認識が不足しているのではないのでしょうか。他県、他市では地道ながらも医療費を抑制するための策を持ち啓蒙を行い成果も上げています。今一度お伺いします。

### ●町長再答弁

保健師も含めた健康指導をさらに進めてまいります。認識不足があるのではとの指摘もあるとの意見ですが真摯に受け止めて、今後やれる事を考えていきたいと思えます。

●教育長に対して●

新学習指導要領が完全実施になり授業についていけない生徒が多くいるようです。主要5科目については中学校3年間で360時教も増えています。これは土曜日に通学していた頃と変わらない水準です。また、生徒と同様に教師側にも内容の多さに戸惑いがあると思います。

比布町では現在チャレンジゼミなどが対策の一つかと認識しますがこれらの内容について現在の状況、また対策を伺います。



●教育長答弁●

学習指導要領の実施に一年間の移行期間があり、ある程度スムーズに行っているようですが、教員方においては授業時間の確保、改善に苦勞していると思います。

ます。比布町教育研究所にて現在の学習指導要領に向けた実践研究等を行っています。加配教諭を小学校に2名、中学校に1名を配置しております。

また、特別支援教育の支援員を小学校2名、中学校1名を配置しております。子どもたちがついていけない点ですが、やはり残念ながら特に中学校では少し2極化傾向にあるようです。でチームティーチングや放課後学習、補習を補っていきたいと考えます。

また、小学生には「ぶつくん寺子屋」、中学生には「チャレンジゼミ」を引き続き実施していきます。今後も学校と情報を共有し、連携を深め子どもの学力向上に向けた支援をしてまいります。

中本 諭議員

●町長に対して●

消防、防災行政における消防団員の定員不足について、現在、比布町消防団は団員数54名で定員の66名を大きく下回っています。

また、今後も減り続ける事が予想されます。「安全」「安心」のまちづくりの観点から、また現

在の団員の負担を少しでも軽減する為にも団員の増員は急務であると思われます。何らかの対策があればお聞かせ願います。



●町長答弁●

現在、第1分団では、定員30名に対し2名不足、第2分団では、18名に対し3名、第3分団では18名に対し9名の不足が生じている状況です。比布町の安全を確保するためにも、何とか定員を確保することが必要だと思っております。

現在、役場職員も入団していますが、今後、農協職員にも協力をお願いをし、また町民の皆様にも入団をお願いする努力を続けてまいります。

遠藤 正明議員

●町長に対して●

農工団地内の町有地は現在、企業誘致の看板も無く町民ですら知らない人が多く、未整備の状態であり誘致を進めるためにも早急な整備が必要だと思います。昨年も同様の質問をしましたが作業的にも進展していませんので、町長の考えを伺います。

●町長答弁●

企業誘致についてですが、厳しい経済状況下にあるとともに農村地域工業等導入促進法の改正により立地企業に対するメリットが廃止され、更地状況での誘致は厳しいようです。

道路、上下水、整地等の造成費もかなりの金額になると思います。

農工団地内の民有地については「農地として活用をしては」と昨年、意見をいただいております。現在は町有地を除き農地として賃貸されており、農振農用地区域の編入作業等も関連してきますのでこれらについても踏まえて地権者とも協議を進めてまいります。

# 平成25年度予算を可決

## 予算特別委員会

新年度予算について、議長を除く10名の議員による予算特別委員会（委員長 那須莞爾）を設置し、3月11日に審議されました。

その結果、総額49億5,553万4千円（前年0.95%減）の予算を原案のとおり可決しました。そのあらまは次のとおりです。

区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一般会計	3,280,000千円	3,329,000千円	△ 1.47%
国民健康保険特別会計	676,617千円	681,046千円	△ 0.65%
後期高齢者医療特別会計	58,488千円	62,231千円	△ 6.01%
介護保険特別会計	505,513千円	488,712千円	3.44%
観光事業特別会計	81,359千円	111,175千円	△ 26.82%
簡易水道事業特別会計	228,568千円	195,756千円	16.76%
公共下水道事業特別会計	113,737千円	131,205千円	△ 13.31%
宅地開発事業特別会計	11,252千円	3,827千円	194.02%
合計	4,955,534千円	5,002,952千円	△ 0.95%



### 町税関係

一般会計（歳入）

**Q** 町民税増加の要因は。また、滞納繰越処分が増えた訳は。

**A** 農業所得、給与所得で増額を見込んでいます。徴収は最大限努力していますが、事情により分納されている方も多くなっており、状況を踏まえた予算となっております。

**Q** ピブルミエールは土地を無償提供したが、固定資産税の試算は。

**A** 平成25年度の固定資産税は、家屋、土地で170万円程度の予定です。

### 繰入金関係

**Q** 繰入金の主な充当内容は。

**A** 財政調整基金は予算全体の調整のため、公共施設整備基金は中学校改築の計画に、ふるさと創生基金は遊湯びつぷ修繕費へ充当します。

### 総務費関係

一般会計（歳出）

**Q** 職員の研修等について少し消極的ではないか。研修し

やすい体制づくりが必要では。

**A** 昨年からの研修計画を策定し実施しています。また、25年度からは新規採用者の事前研修の充実も図っています。今後は、北海道との交流研修や湖南市での研修等も検討します。

**Q** 防災行政無線の有効活用とJアラート（全国瞬時警報システム）の活用現状は。

**A** 正確な情報でなければ無線で流すことは難しいと考えます。また、Jアラートについては未だ誤報などがあることから、再度、検証が必要と考えます。

### 民生費関係

**Q** 高齢者事業団の運営に際し、高齢者福祉の観点から町としての関わりを持つては。

**A** 基本的に独立した組織と考えますが、高齢者が仕事を通じて生きがいを持つという側面もあり、オペザーバー的役割で支援をしたいと考えます。

**Q** 老人クラブの会合において、町理事者を含め、年に1〜2度基本的な老人福祉対策などの説明や意見交換をしては。

**A** 説明の機会を作ることは必要と考えますので、理事者の出席も含め連合会と協議をい

たします。

**Q** 発達障害児の保育園入園に際しての町からの補助はどのようになっていくのか。

**A** 現状は、保育園からの要請に応じ臨時保育士の人件費の一部を補助しています。

**Q** 生活保護が必要な方の把握はどのようにしているのか。

**A** 各地区の民生委員からの情報、他の福祉サービスの利用状況など色々なアンテナを上げるにより把握は可能ですが、あくまでも申請によるものなので対応は非常に難しいと思います。

**Q** 国保特別会計への一般会計からの繰入金についての考え方は。

**A** 国保被保険者への過度の負担を避けるために、一般会計から繰入をしますが、今後については国保運営協議会の意見を聞き進めます。

衛生費関係

**Q** ぴつぷくりニツクの運営費補助は変動するのか。また、補助金に関する業務報告はさせるのか。

**A** 金額の基準は交付税算入額で特に事情が変わらなければ、当面はこの金額となります。

収支状況については予算化の段階でも確認し、今後も報告を求め考えです。

**Q** 町内外の方も使用する火葬場（公共施設）トイレは、悪臭だけの問題ではなく、時代に合った改修が必要では。

**A** 補正予算で水洗改修を検討します。

**Q** 火葬場の広域化の話はどうなっているのか。

**A** 近隣町も老朽化していると聞いているが、具体的な話にはなっていません。

**Q** 公衆浴場の営業時間を早めることはできないか。

**A** 利用者の状況を確認し、聴き取りをして検討します。

農業費関係

**Q** 受託組織補助金について、昨年の実績により当初から増額して予算計上しては。

**A** 品質要件にこだわりたい。また、国の政策を検証しながら進めたいと考えます。

**Q** 青果物生産振興事業において執行残があるが、新年度に向けての考えは。

**A** 25年度においては、町の青果物の振興を今一度十分に検討する1年にしたいと考えます。

**Q** J A びつぷの中期計画においても重点作物に対する支援を考えているようなので、連携をとって青果物振興に力を入れてほしい。

**A** 互いに連携を取りながら進めてまいります。

**Q** 農用地区域の見直しについてどのように進めるのか。

**A** 町、農協、改良区、農業委員会が連携し円滑に進めていきます。

教育費関係

**Q** 教育の一環として、小学生のスキー場リフト券を無料化にしては。

**A** 協議検討を進めます。

**Q** 町民文化祭に展示物等が減ってきている、教育委員会が主体的に関わっても良いのでは。

**A** 展示物については町内の洗い出しを行い、文化連盟とも相談、協議をしながら進めてまいります。

**Q** 中学校改築に係る今後のスケジュールについて

**A** 建物の耐力度調査、基本計画を今年度実施し、並行して、改築検討委員会において各方面からご意見をいただき進

めていきます。

特別会計

国民健康保険関係

**Q** 医療給付費増大などにより、国保会計は単独では成り立って行かないのでは。

**A** 国保税の平準化のためにも北海道全域や近隣での広域化が必要と考えます。

特別会計

観光事業関係

**Q** リフト収入の損益分岐点は。

**A** スキー場施設、設備等の老朽化が激しい実態もありますが、大きな修繕等が発生しない限り、7千万円前後と考えます。

特別会計

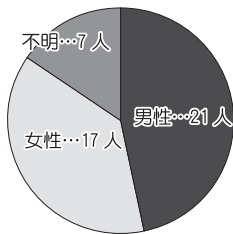
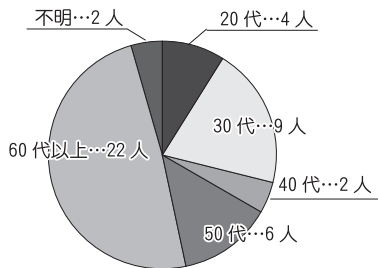
宅地開発関係

**Q** ふれあいタウン分譲の特典について、米など町の特産品を活用し、町内循環されるものは考えているのか。

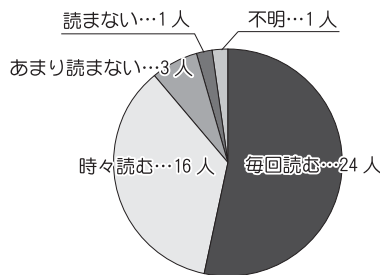
**A** この特典に限らずあらゆる事業の中で、特産品等の活用は必要と思っております。

# 議会だより」に関する町民アンケート集計結果

## 【問1】 あなたの年代、性別を教えてください



## 【問2】 議会だよりを読んでいますか



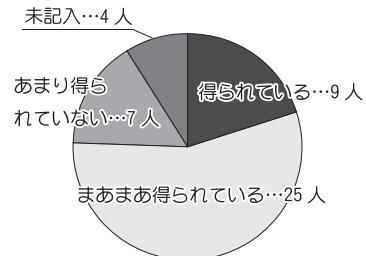
本町議会では、昨年3月に議会改革特別委員会を設置し、さまざまな論議を重ねてきました。

その中の一つとして、議会だよりの紙面の充実についての話が取り上げられ、議会広報特別委員会を中心に、この度のアンケート調査を実施致しました。

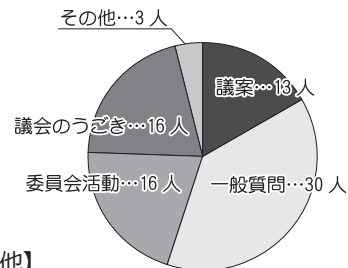
なお、このアンケート調査は、平成25年2月に発行した「議会だより第68号」にアンケート用紙を折り込み、町内10か所に回収箱を設置させていただき実施したものです。

これにより45枚の回答をいただいた結果を踏まえ、今後、町民の皆様からいただきましたご意見やご要望などを元に、より皆様に親しまれる紙面づくりに向けて参考にさせていただくほか、議会改革についても議論を深めてまいります。

## 【問3】 議会だよりで議会の情報が得られていますか



## 【問4】 議会だよりでどんな情報が知りたいですか (複数回答可)



### 【その他】

- ◆全議員が何を思っているのかもっと知りたい。
- ◆各議員の連載・「いまに一言」等の提言コラム欄。

## 【問5】 その他、議会に関するご意見、ご要望について

- ◆無人空店舗や空き地利用、駅前通り・2線通商店街の賃貸方法などを考えては。
  - ◆町のインフラ整備、生活道路（特に冬期間）の安全確保等。
  - ◆町民のために又、比布町のために活動してほしい。
  - ◆議員に相談できる雰囲気を作ってほしい。
  - ◆議場の傍聴席を他町の様に整備して、傍聴しやすい環境を作ってください。
  - ◆議会毎に質問する議員さんもいるが、一般的に2～3名の質問者というのは納得がいかない。たくさんのお問題点があると思うのに！もう少し議員さんは、町民の声を聞け!!
  - ◆次期（平成27年）改選期の議員定数の「2名削減」の実施。
  - ◆定数削減後の常任委員会は、全体の1委員会の組織化。
- その他多数のご意見・ご要望をお寄せいただきました。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。



# 委員会の活動

activities

## 総務常任委員会

▼▼▼2月19日開催

### 【教育委員会関係】

#### 協議事項

- ・比布町ゲートボールコート条例を廃止する条例について
- ・平成24年度教育費関係補正予算（案）について
- ・平成25年度教育費関係予算（案）について
- 以上について、説明を受け協議しました。

#### 報告事項

- ・平成25年度児童生徒数と学級編制数について
- 中央小学校 154名
- （新入生 18名・男 8名、女 10名）
- 比布中学校 86名
- （新入生 28名・男 14名、女 14名）
- 君の夢プロジェクト推進事業について
- ・白寿大学の運営について
- ・図書館事業について
- ・教育委員長の選任について

- ・学校におけるインフルエンザの状況について
- ・教育委員会関係の行事の経過と予定について



### 【総務企画課関係】

#### 協議事項

- ・平成25年第1回議会定例会提出議案について
- ・平成25年度地方財政対策について
- 比布町各会計予算見積（案）について
- 過疎地域自立促進町村計画の変更について

- ・定住対策事業について
- ・第11次まちづくり計画について
- 以上について、説明を受け協議しました。

### 【税務住民課関係】

#### 報告事項

- ・平成24年度（1月末）町税等の調定及び収入状況について
- ・上川広域滞納整理機構について

- ・住民基本台帳カード申請状況について

#### 協議事項

- ・平成24年度一般会計補正予算（案）について
- ・平成25年度一般会計予算（案）について
- ・平成25年度上川広域滞納整理機構予算（案）について
- 以上について、説明を受け協議しました。

### 【保健福祉課関係】

#### 協議事項

- ・第2回議会臨時会提出議案について
- 福祉係（一般会計）
- 国保医療係（一般会計・国民健康保険特別会計）
- 第1回議会定例会提出議案
- ・比布町新型インフルエンザ等対策本部条例

- ・比布町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例
- ・各会計補正予算（案）について
- 以上について、説明を受け協議しました。

### 意見書の審査

「平成25年度地方財政対策に関する意見書」について内容を審査した結果、採択として国に意見書を提出すべきと決する。

## 産業建設常任委員会

▼▼▼2月20日開催

### 【農業委員会関係】

#### 報告事項

- ・農業経営基盤強化促進法による平成24年度農用地集積状況
- 「農地利用集積計画」所有権移転総数 31件 8164a
- 協議事項
- ・平成24年農業委員会補正予算案について
- 農地申請手数料の増等
- ・平成25年農業委員会予算案について
- 農業委員視察研修費等



**【産業振興課（商工・観光部門）関係】**  
**報告事項**

- ・平成24年度びつぷスキー場利用状況リフト収入  
4925万3300円  
昨年対109・07%  
(平成25年2月15日現在)
- ・ファミリーパックの新設に伴いリフト収入が増えたが今後の課題も。
- ・平成24年度遊湯びつぷ入場者数 10万1977人  
昨年対97・85%（1月末現在）
- ・平成24年度商工・観光予算執行状況について  
チャレンジシヨップ事業など執行はないが中期に予算を確保すべき。



**協議事項**

- ・平成24年度補正予算について
- ・平成25年度予算案について  
いちご狩り支援の継続と検討、良佳村施設の修繕、リフトの修繕塗装等々

今後、老朽化する建物等の修繕を検討していく。

- ・比布町商工業振興事業補助とチャレンジシヨップ支援事業補助の区別について

**【産業振興課（農林部門）関係】**  
**報告事項**

- ・平成25年度産米の生産目標数量  
北海道 57万2940トン  
昨年対▲1万1360トン  
比布町 7099トン  
昨年対 ▲159トン
- ・比布町森林組合と旭川森林組合合併状況について  
平成26年6月合併登記予定  
支所設定なし
- ・平成24年度農業関係予算執行状況について  
今後は青果振興に力をいれていく。農業機械リース事業は順調に進んだ。

**有害鳥獣捕獲事業**

**協議事項**

- ・地域農業マスタープラン策定状況について

「農地集積協力金」

経営転換協力金（出し手側）

6件 340万円

分散錯圃解消協力金（飛地集積）  
5件 38万9千円  
青年就農給付金（新規）  
1件 150万円

農業体質強化基盤整備促進事業ついて  
平成25年施工予定

割当額 8000万円

- ・平成24年度補正予算について  
農作業受委託支援対策
- ・平成25年度予算案について  
農業法人化支援、青果物振興対策の継続と検討、6次産業化への試み等々

比布町は米作りに最適な地でもあることから水張面積拡大、維持していくことが大事。町の特色を出すクリーン米への対策。

**【建設課関係】**  
**協議事項**

- ・比布町道路の構造の技術的基準等を定める条例について  
道路幅員の指定、バリアフリー化や道路へのベンチの設置等を町の基準として定める。
- ・平成25年度建設課所管工事予定案について

あけぼの団地C棟D棟屋上防水長寿命化型改善工事、新団地基本設計・実施設計委託業務、町有住宅解体工事等々

**産業建設常任委員会**

▼▼▼3月11日開催

**意見書の審査**

「PPP交渉参加断固阻止に関する意見書」について内容を審査した結果、採択として国に意見書を提出すべきと決する。

**人事異動**



4月1日付けの人事異動で、新しく議会議務局長に作田恵一さんが着任されました。

今後ともよろしくお願いします。

## ◆◆◆ 議会のうごき ◆◆◆

### 2 月

- 1日 上川中央部市・町議会議長会定例会議  
(美瑛町、議長)
- 11日 道議会議員たけうち英順新年交礼会  
(美瑛町、議長)
- 14日 議員への説明協議会 (役場、全議員)
- 18日 上川教育研修センター組合議会定例会  
(旭川市、議長)
- 19日 総務常任委員会 (役場、各委員・議長)
- 20日 産業建設常任委員会(役場、各委員・議長)
- 22日 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)  
第2回議会臨時会 (役場・全議員)  
上川町村議会議長会定期総会  
(旭川市、議長)
- 27日 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)
- 28日 比布農民連盟定期総会 (農協、議長)

- 11日 産業建設常任委員会(役場、各委員・議長)
- 12~18日 3町議会傍聴  
(当麻町・上川町・美瑛町、各議員)
- 13日 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)
- 15日 比布中学校卒業式 (中学校、各議員)
- 17日 旭川比布同郷会総会 (旭川市、議長)
- 19日 中央小学校卒業式 (中央小学校、各議員)
- 19日 消防組合議会全員協議会  
(上川町、各組合議員)
- 21日 白寿大学卒業式・修了式  
(福祉会館、各議員)
- 25日 議会改革特別委員会(役場、各委員・議長)
- 27日 JAぴっぴ町通常総会  
(改善センター、議長)
- 30日 美深IC～美深北IC開通記念式  
(美深町、議長)

### 3 月

- 2日 鷹栖町名誉町民故小林勝彦氏を偲ぶ会  
(鷹栖町、副議長)
- 5日 大雪浄化組合議会定例会  
(役場、各組合議員)  
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会  
(役場、各組合議員)
- 7~13日 第1回議会定例会 (役場・全議員)
- 11日 予算特別委員会 (役場、各委員・議長)

### 4 月

- 4日 中央小学校入学式 (中央小学校、各議員)  
比布中学校入学式 (中学校、各議員)
- 6日 TPPについての情勢報告会  
(旭川市、議長)
- 18日 議会広報特別委員会 (役場、各委員)
- 21日 愛別町長当選祝 (愛別町、議長)
- 25日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

## ◆ 編集後記 ◆

今年の豪雪を耐え忍び、いよいよ春の陽気に向って新緑が芽吹かんとする躍動の季節を迎えました。

さて、本町議会では昨年に議会改革特別委員会を設置し、今後の議会運営の在り方等について議論をしているところで

す。  
過日、3月の定例会時期には私達議員がそれぞれの班に分かれ、近隣の当麻、上川、美瑛の各3町議会へ視察研修を兼ねた議会傍聴に行っていました。

我々議員が他町議会の様子を観るというのは初めての試みであり、画期的な取り組みだったと思います。

さらに地元とは違う議場の雰囲気や議論の方法も様々であり、参加した議員は随所に関心を得ることができました。

私がお邪魔した町議会では、より深い議論を追求するために一問一答方式を採用しており、執行側と議員との熱意の込められた論戦を目の当たりにいたしました。その果敢な質問と答弁は大変勉強になりました。

傍聴をさせていただいた3町議会関係者には衷心よりお礼を申し上げますとともに、この経験を今後の議会活動に生かしたいと思えます。

(佐藤 康則)